

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 H-K07
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
情報リテラシーⅢ			講義・演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	山崎 弘
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
MOS Excel365 の合格を目標とする。当該試験の範囲1～5に関するソフトウェアの操作体系と操作スキルを定着させるとともに、模擬試験を実施することで合格するための攻略法を学ぶ。 特に、学習期間の後半では合格への対策手段を集中的に学習する。					
授 業 の 概 要					
1. ブック、ワークシート、セルの概念を理解し、これを対象とする操作を習得する 2. テーブルとテーブルデータ管理を理解し、これを対象とする操作を習得する 3. グラフの作成と変更および書式を理解し、これを対象とする操作を習得する					
成 績 評 価 の 方 法					
試験（模擬試験1から5）：各模試を評価しその素点の平均とする MOS の検定試験結果も評価の対象とする 学習意欲：授業時の受講態度や授業への参加の姿勢などから総合的に評価する					試験 50% 意欲 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
MOS Excel365 テキスト 富士通エフ・オー・エム(株) 同テキストの学習データおよび模擬問題データ教材					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. ワークシートとブック			3. テーブル		
(1) ブック内の移動		2	(1) テーブル作成		2
(2) 書式設定		4	(2) テーブル変更		2
(3) オプション表示		2	(3) テーブルデータとレコード		4
(4) コンテンツ設定		4	4. 数式と関数		
(5) ブックへのインポート		2	(1) 参照		4
2. セルとセル範囲			(2) 加工		2
(1) データ操作		2	(3) 書式設定		4
(2) 範囲設定		2	5. グラフ		
(3) 名前付き範囲		2	(1) 作成		2
(4) スパークラインと組込み		4	(2) 変更		2
			(3) 書式設定		4
			6. 模擬試験 5回(適時)		10
その他			関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 H-K09
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
ビジネスマナーⅡ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	30	1	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
基本的マナー・エチケットをわらに磨き、今後の実習や就職活動に活かすことができる。					
授 業 の 概 要					
ビジネスマナーを学びより人間関係を構築し、保育者としての表現向上を目指す。 マナーやエチケットを心得ることで、コミュニケーションスキルを高めることができる。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題と学習意欲を総合的に評価する。 提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					課 題 50% 学習意欲 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
おさほうえほん					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
			時間数		
1. 課題設定、職業人としての基本知識			4		
2. おさほうえほん			20		
3. お作法 試験			2		
4. 名刺作成			2		
5. 名刺交換			2		
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	H-K12
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
一般教養			講義		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	60	4	吉村 香央里	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
公務員試験に対応できるよう、調査・受験手続などを行う。 また、新聞の読み方など社会人に必要な知識として、話題の時事ネタを中心に討論やグループワークを行い、その内容をプレゼンテーション出来るようにする。						
授 業 の 概 要						
公務員試験について、受験自治体の実施計画を調査する。また、1次試験対策を行う。 社会人としての基礎知識として、新聞内容を読み解き 自分の考えを述べる。また、ディベート・グループワークを経験し、プレゼンテーションも行う。						
成 績 評 価 の 方 法						
単元ごとの課題と期末試験 課題を調査・発表 課題への取り組み態度を学習意欲とする 以上3点を総合的に評価する。					期末試験	70%
					学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
なし						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1	自治体の公務員試験実施計画を調査		4	5	新聞を読む	
2	各自治体の実施計画をリマインド		2	5.1	直近1週間の新聞	
3	公務員試験対策		20	6	昨日のニュース	
	3.1 専門試験対策			6.1	政治の話題に触れる	
	3.2 教養試験対策			6.2	保育の話題に触れる	
	3.3 実技試験対策			7	テーマを決めて	
4	エントリーシートの書き方			7.1	ディベート	
	4.1 一般的なエントリーシート記入		4	7.2	グループワーク	
	4.2 各自治体のエントリーシートに挑戦		6	7.3	プレゼンテーション	
その他				関連科目		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 H-K15
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
特別活動Ⅲ			実技・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	2	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
校外での集団行動も多く取り入れ、チームワークなど教室の授業では得られないコミュニケーション能力の向上ができるようになる。					
授 業 の 概 要					
学校行事として、各種行事（遠足・スポーツフェスティバル）や特別講座を受講する。					
成 績 評 価 の 方 法					
認定科目のため、参加態度（学習意欲）で評価する。 また、保育特別講座については、報告書(課題)にて評価する。					課 題 50% 学習意欲 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. 各種イベント			時間数		
2. 春の遠足			24		
3. 保育特別講座			8		
4. 救急法			8		
5. 防災訓練			2		
6. スポーツフェスティバル			2		
草薙体育館			8		
7. 秋の遠足			8		
その他				関連科目	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 H-K36
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
保育・教職実践演習			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	15	1	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・ 自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能の習得を確認する。 ・ 保育者としての使命や職務内容を理解し、コミュニケーション能力を習得する。 ・ ワークシートを配布資料として記入。					
授 業 の 概 要					
これまでの学習と実習を振り返り、自分の学びや課題に気づき、理想とする保育者像に近づくためにはどのようにすればよいのか具体策を考え、不足している知識や技能を補い定着を図る。					
成 績 評 価 の 方 法					
毎時間ワークシート提出（課題）、内容の評価点を総合評価したうえで決定する。 提出物（意欲）については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					課 題 50% 学習意欲 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（フレーベル館） 配布資料					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. オリエンテーション 保育・教職実践演習について 2. 保育者の役割と職務内容 3. 自分の理想とする保育者像とは 4. 自分の得意と課題を知る 5. 課題を解決するための方策を考える 6. グループワーク（アイデア集作成）			時間数 2 2 2 2 4 3		時間数
その他			関連科目		
			保育・教職実践演習 S		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
				科目コード		H-K41	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
音楽Ⅲ			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	90	3	中津川 百世		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
弾き歌いを中心に歌詞の内容に興味を持ち想像力を豊かにし、より深く理解する。またレパートリーを増やしていきながら、すでに持っているレパートリーを強化し、保育現場で自信を持ってピアノ伴奏に対応できる力をつける。またピアノ以外でも自分の得意な事を見つけ認識させて伸ばしていく。コードネームの意味を理解し、自分のレベルに合った伴奏付けを出来る様にする。							
授 業 の 概 要							
「音楽の楽しさ」を伝えることができる幼児教育者となる為に 必要な表現力、技術力を身に付ける段階として、「歌うこと」「弾くこと」のレベルを上げる。特に弾く事に関しては、個々で得意、不得意をきちんと認識し、不得意に対しての解決法を学んでいく。							
成 績 評 価 の 方 法							
・実技 うた ・授業での学習意欲、参加態度 ・課題 他					期末試験	50%	
					課 題	25%	
					学習意欲	25%	
これらを総合的に評価する。							
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
近畿大学九州短期大学 音楽ピアノ教本 ピアノといっしょに 保育園、幼稚園でたのしめる 子どものうた大全集(出版社 ケイ・エム・ピー) その他、必要に応じてプリントを配布							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
			時間数				時間数
1.生活のうた			8	7.秋のうた			6
2.実習準備(夏のうた)			12	8.冬のうた			6
3.春の歌			6	9.行事のうた			6
4.コード付			10	10.卒園のうた			8
5.前期試験対策			10	11.期末試験対策			10
6.前期試験			4	12.期末試験			4
その他				関連科目			
ピアノを演奏する事が楽しいと思えるようになる為に、自主練習がとても大切になります。少しずつであっても、努力、進歩を感じる事ができる1年にしていきましょう。				音楽Ⅰ・音楽Ⅲ			

シラバス（授 業 概 要）					年 度		2025 年度	
					科目コード		H-K44	
授 業 科 目 名				授業形態		学科・コース		
実習指導Ⅲ				講義・演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
3	通年	必修	60	2	吉村 香央里			
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標								
各実習の意義、目的や各施設と役割について理解し、自らの課題を明確にする。また、これまでの実習を振り返り、マナーの再確認や必要な知識や技術の習得を図り、自身が抱える実習に対する不安や困難を軽減する。								
授 業 の 概 要								
・テキストを使用しながら、実習に必要な知識、マナー、子どもや保育者との関わり方、トラブルが起きた時の対策など具体的に学び、実習で活かせるようにする。 ・指導案を作成し、グループワークにて模擬保育を行う。 ・テーマに沿っての自分の考えや不安をグループやクラスで話し合う中で気持ちを共有する。また、不安をそのままにせず解決策を考えたり提示したりすることで自信を持って実習に臨めるようにする。								
成 績 評 価 の 方 法								
指導案の作成、模擬保育、グループワークでの取り組みや発表等の授業への参加態度、課題を総合的に評価する。提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。						課 題	60%	
						授業態度	40%	
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材								
・幼稚園・保育所・児童福祉施設実習ガイド（同文書院） ・映像で学ぶ指導案と日誌の書き方（新宿スタジオ） ・教育実習事前事後指導（近畿大学九州短期大学）								
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画								
【前期】			時間数	【後期】			時間数	
1.	オリエンテーション		1	1.	保育実習ⅡSに向けて・実習のポイント		6	
2.	施設実習に向けて		2	2.	乳児の発達と保育について		4	
3.	施設実習事前指導		4	3.	10の姿・小学校接続をふまえた保育について		6	
4.	施設実習を終えて グループディスカッション・発表		4	4.	指導案作成と模擬保育		8	
5.	教育実習ⅡSに向けて・実習のポイント		4	5.	保育実習ⅡS事前指導		2	
6.	日誌・指導案の書き方復習		5	6.	保育実習ⅡSを終えて		2	
7.	指導案作成と模擬保育		4	7.	まとめ		2	
8.	教育実習ⅡS事前指導		4					
9.	教育実習ⅡSを終えて		2					
その他				関連科目				
				・実習指導Ⅰ ・実習指導Ⅱ				

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 H-K45
時間数は45分換算					
授 業 科 目 名			授業形態	学 科 ・ コー ス	
レクリエーション			演習	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	2	桑原 健吾
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
年齢や目的、場面に合わせたレクリエーションを企画し、提供できる。 様々なレクリエーション活動を通してレクリエーションの技術を身に着けることができる。					
授 業 の 概 要					
レクリエーションとは何かを学び、楽しさを味わいながらレクリエーション指導の技術やアイデアを身に着けていく。また、様々な場面や目的・人数に応じたレクリエーションの意義を考察し、グループワークを通して身近な素材を使いオリジナルのレクリエーションやボードゲームを企画制作できる技術も身につけていく。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題（小レポート）の評価点、学習意欲（グループワーク・発表含む）を総合評価したうえで決定する。					課 題 70% 学習意欲 30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
・必要に応じてプリントを配布					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. アイスブレイク …レクリエーションの楽しさを味わう			時間数 2	4. オリジナルボードゲーム制作 (グループワーク)	
2. レクリエーションとは			2	5. ボードゲーム体験会 (ゲームのプレゼン)	
3. 年齢・目的に応じたレクリエーション					
3-1 乳幼児向けのレク			2	6. まとめ	
3-2 学童向けのレク			3		
3-3 学生向けのレク			3		
3-4 会社で行うレク			3		
3-5 高齢者向けのレク			3		
その他				関 連 科 目	
				自然教育	

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	H-K46
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
リトミック			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	通年	必修	60	2	中津川 百世	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
こどもの年齢に合ったティーチング、リズム、リズム演奏法が出来る様になる。 基礎リズムを習得し、リズム演奏やうたの伴奏などの読譜力の向上につなげる。 実際に、子どもたちに、リトミックを楽しく体験させられる指導力を身に付ける。						
授 業 の 概 要						
幼稚園、保育園、こども園、支援学校等で コミュニケーション能力を高められるよう、こどもの年齢に合ったティーチング、リズム、リズム演奏法を学ぶ。						
成 績 評 価 の 方 法						
期末試験、授業での学習意欲、参加態度、課題の取り組み方などを総合的に評価した上で決定する。					期末試験	40%
					課 題	30%
					学習意欲	30%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
その都度、必要な資料を配布。						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
			時間数			時間数
1.オリエンテーション			1			
2.楽しいリトミックの経験			10			
3.基本的な動き、ステップなど			10			
4.ティーチング			6			
5.リズムの演奏法、リズムの応用			10			
6.基礎リズム			9			
7.リトミックの論理			2			
8.まとめ、実践			8			
9.期末試験			4			
その他				関連科目		
動きやすい服装、素足又は靴下で参加して下さい。 筆記用具持参						

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
				科目コード		H-K49	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
制作演習Ⅲ			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	通年	必修	60	2	戸塚 恵・吉村 香央里		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
子どもの成長につなげるために、特性や発達段階に沿った制作遊びの導入・展開ができるようになる。様々な道具や素材を臨機応変に制作に取り入れるための知識と経験を蓄える。							
授 業 の 概 要							
保育における制作遊びの意義と子どもの発達過程を理解した上で、年齢や特性に応じた制作遊びの導入と展開について実践を通して学ぶ。教育要領や保育指針と実習の経験を踏まえて、教材研究の方法を学ぶ							
成 績 評 価 の 方 法							
通常授業での積極性や理解度と模擬授業での積極性を学習意欲として評価する。 制作物や教材研究の完成度や提出時期を課題として評価する。						課 題	60%
						学習意欲	40%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
幼稚園教育要領、保育所保育指針、連携型認定こども園教育・保育要領（フレーベル館）							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. オリエンテーション 制作演習を学ぶにあたって 造形と発達の復習 2. 子どもの発達と制作あそび 発達に応じたあそびにつなげる ① 0.1 歳児の制作 ② 2.3 歳児の制作 ③ 4 歳児の制作 ④ 5 歳児の制作			時間数	3. お楽しみに使える制作 遊べる工作（グループワーク） 4. 各制作物の教材研究をまとめる 5.お楽しみ会を実施しながら発表			時間数
			4				24
			20				8
							4
その他				関連科目			
				制作演習Ⅰ、Ⅱ			

シラバス（授 業 概 要）					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	H-K51
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
絵本教育Ⅱ			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	60	2	森主 あゆみ	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
・ 認定絵本土の役割について理解する。 ・ 認定絵本土に必要な絵本に関しての「知識」「技能」「感性」を身に着ける。 ・ 様々な分野や角度から絵本の基本的知識について深める。						
授 業 の 概 要						
本科目は、認定絵本土養成講座カリキュラム及びガイドラインに基づき行われる。絵本総論及び各論を学ぶ中で認定絵本土に必要な「知識」「技術」「感性」を深め学んでいく。						
成 績 評 価 の 方 法						
課題の評価点、学習意欲を総合評価して決定する。 提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					課題 演習	50 % 50 %
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
認定絵本土養成講座テキスト（中央法規出版）						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. オリエンテーション 2. 絵本総論（絵本とは何か） 3. 絵本各論 （絵本の歴史・絵本賞・視覚表現・言語表現・絵本の関わり・絵本の位置づけ） 4. 様々なジャンルの絵本 （物語・昔話・童話・科学絵本） 5. 絵本と出会う （保育、教育現場・図書館・書店） 6. 絵本の世界を広げる技術 （絵本を探す・ワークショップ・絵本コンシエルジュ） 7. 絵本を紹介する技術 （ブックトーク・書評・紹介文等） 8. おはなし会の手法 （意義と目的・テクニック）			時間数 2 2 8 6 8 6 6 4	9. 絵本の持つ力 （さまざまな角度から絵本を見る） 10. 心に寄り添う絵本 （心のケアと絵本の可能性） 11. 絵本のある空間 （絵本のある望ましい空間） 12. 子供の心をとらえるもの （子供の心をとらえて離さないもの） 13. 大人の心を豊かにする絵本 （大人にこそ絵本を） 14. 絵本ホスピタリティに学ぶ （人を楽しませるための手法） 15. 絵本が生まれる現場 （作家の感性に触れる・絵本の編集） 16. ディスカッション （絵本専門士としての今後の活動）		時間数 2 2 2 2 2 2 4 2
その他			関連科目			
			絵本教育Ⅰ			

シラバス (授 業 概 要)					年 度	2025 年度
時間数は4 5分換算					科目コード	H-K52
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース	
自然教育			講義・演習		こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員	
3	前期	必修	30	1	桑原 健吾	
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標						
幼児教育における自然体験活動の位置づけを理解し、自分なりの見識を持つことができる。 ネイチャーゲームを通して子どもの年齢や発達、興味に応じた自然体験活動を計画できる。 秋の自然物（どんぐり等）を使って幼児向けのゲームを企画・制作できる。						
授 業 の 概 要						
自然体験活動（ネイチャーゲーム・SDG s 等）を通して感じたことを、アクティブラーニング形式で他の学生と共有しながら、保育者としての役割を考えていく。授業後半では、幼児向けのどんぐりゲームを企画・制作し、身近な自然物や素材を使って歳児や発達段階に適した玩具を作る力を養う。						
成 績 評 価 の 方 法						
学習意欲（授業態度）、課題（グループワーク・どんぐりゲーム制作）を総合的に評価する。					課 題	80%
					学習意欲	20%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材						
・体験と学びを深めるネイチャーゲーム（日本シェアリングネイチャー協会） ・その他必要に応じてプリントを配布する。						
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画						
1. 保育・幼児教育における自然教育とは			時間数	4. どんぐりゲーム制作		時間数
			2			8
2. 自然体験活動(ネイチャーゲーム体験)				6. どんぐりゲーム体験会		4
2-1.幼児教育編			2			
2-2.小学校教育低学年編			2	7. まとめ		2
2-3.小学校教育高学年編			2			
3. モルック体験			4			
4. SDGsと幼児教育						
4-1.保育現場とSDGsの関係性			2			
4-2.ゲームを通してSDGsを学ぶ			2			
その他				関連科目		
				自然教育		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード	
				H-K55	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス
交流ゼミⅢ			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	30	1	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
校内・校外の講師や同じ目的を持つ学生・実習生と交流を持つことで、今後の進路選択に役立てる。 普段の授業では学べない特別講座を通じて、実践力を身につけることができる。					
授 業 の 概 要					
より実践的な保育特別講座を開催し、就職先で実際に使える知識・技術を高める。					
成 績 評 価 の 方 法					
実習報告会での発表内容・発表姿勢、及び、保育特別講座・交流イベント等への参加態度や実施後のレポート内容と提出状況を総合的に評価する。					課 題 50% 学習意欲 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 1年生との交流イベント		4			
2. 実習報告会①(施設実習)		4			
3. 1年生への制作講座準備		4			
4. 実習報告会②(教育実習Ⅱ)		4			
5. 実習報告会③(保育実習Ⅲ)		4			
6. 保育特別講座 (保育ガイダンス、OB/OGセミナー)		4			
7. 近隣園との交流イベント		6			
その他			関連科目		
			交流ゼミⅠ・Ⅱ		

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 H-K56
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
保育スキルアップ講座			演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	通年	必修	60	4	紅林江身子・小笠原香奈
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
自らが楽しんで取り組み、実践授業を通して保育現場で自信を持ち指導できるような指導テクニックを身につける。 また、様々な表現を学び保育に活かす方法を検討する。					
授 業 の 概 要					
“遊び” から始まる日常の保育の展開や実践的指導力の向上を図り、さらに園内の行事プログラムの指導計画まで発展させる。 また指導者の資質を理解し、実践力を身につける。					
成 績 評 価 の 方 法					
英語：期末試験。学習意欲・レポート提出を総合的に判断する				期末試験	15%
				課 題	40%
				学習意欲	45%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
なし					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
◎テキスト Speaking of Childcare より ◎歌やアクティビティ ◎コミュニケーション力について ◎試験 中学英語 保育の為の基礎英語 レポート	時間数				時間数
	12	◎オリエンテーション			2
	10	◎保育行事におけるの身体表現			10
	4	◎衣装製作・発表			8
	4	◎様々な投げる動き			2
		◎海外の保育・運動遊び			2
		◎戸外保育			4
		◎まとめ			2
その他			関連科目		
【持ち物】					
運動靴・運動できる服装・縄跳び					

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		H-K57	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
卒業研究			演習		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	60	2	吉村 香央里		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
保育・教育分野から主要なテーマを一つ選定し、研究する。 個々の到達目標を達成し、研究をまとめ発表できる。							
授 業 の 概 要							
保育・教育の分野からテーマを選び、研究発表する。 発表形式は、テーマによりプレゼンテーション形式または表現発表となる。 また、研究内容は、まとめとして提出する。							
成 績 評 価 の 方 法							
発表内容・研究意欲（計画性・実行性・まとめ等）を総合的に評価する。						発 表	40%
						研究意欲	60%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
テキスト：なし							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1. 卒業研究とは・グループ決め・ テーマ選定 2. 卒業研究 3. 論文作成 4. プレゼンテーション準備 5. 発表			時間数				時間数
			6				
			20				
			10				
			20				
			4				
その他				関連科目			

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		H-S23	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
教育実習②S			その他		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	90	3	森主 あゆみ		
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標							
幼稚園における教育内容や幼稚園の機能について、体験を通して理解できる。 幼稚園教諭の職務および役割について、体験を通して理解できる。 幼稚園での1日の教育内容を振り返り、観察記録を作成することができる 部分実習または、全日実習の指導計画を立案することができる。							
授 業 の 概 要							
専門教育科目で獲得した幼児教育に対する知識、技能を活用しながら、実践的指導力を体験的にまた総合的に高めていくことを目標とする。この目標を達成するために3週間の指導実習を主とする実習を行うこととする。							
成 績 評 価 の 方 法							
1.実習日誌の記述内容①「観察記録」の記述内容、②「本日の実習についての反省・感想・今後の課題など」の記述内容 2.指導計画の記述内容①「朝の会」「絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びや音楽の弾き歌いなどの短時間で行える活動」「昼食指導」「帰りの会」の部分実習②「午前の主な活動」「午後の主な活動」の部分実習 3.実習園による評価 提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					実習日誌・指導計画の記述内容		50%
					実習園による評価		50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材							
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画							
1.各園実習 1 回目の実習を基礎として、専門教育科目で学習したあらゆる知識・技能を統合しながら、以下のような学習内容を獲得していく。 ①部分実習、全日実習の指導計画の作成および指導 ②幼稚園教諭としての保育技能の取得および態度の養成			時間数 90	③幼稚園と家庭との連携の内容と方法の理解、先生同士の連携の理解（報連相）			時間数
その他				関連科目			
担当職員の指導や助言に従い、積極的に教育実習に参加すること				教育実習②S 教育実習事前事後指導 S			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 H-S24
授 業 科 目 名			授業形態		学 科 ・ コー ス
保育・教職実践演習 S			講義・演習		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	20	2	森主 あゆみ
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
自らの学びを振り返り、保育者として必要な知識・技能の習得・コミュニケーション能力を確認する。また、保育者としての使命感と職務内容について再確認する。					
授 業 の 概 要					
保育者として必要な資質能力の習得を確認し、保育の現場ですぐに活用できる技術や知識をワークやロールプレイにより学習する。実習でのエピソードなど子どもや保育への思いを再認識し仲間と共有を図りながら意欲向上につなげる。					
成 績 評 価 の 方 法					
課題の評価点、学習意欲を総合評価して決定する。 提出物については要求された機能が実現しており、かつ、決められた期日までに提出することが最低条件である。提出物が1つでも未提出であれば、成績の評価は行われない。					学習意欲 50% 発 表 50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
必要なプリントを配布する。					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1. オリエンテーション 保育者として必要なこと			時間数 2		
2. 保護者理解と支援			2		
3. 子どもと保育のすばらしさ			2		
4. 安全管理			2		
5. 保育者とコミュニケーション			2		
6. 保育者に必要なソーシャルマナー 制作物の作成・発表			10		
その他				関 連 科 目	
				保育・教育実践演習	

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度 H-S27
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
子どもの健康と安全S			講義 グループワーク		こども保育科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	後期	必修	20	1	池ヶ谷麻紀子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
[目的] 子どもの健康で安全な生活を支えるために必要な保育者の役割を学ぶ。 [目標] ・保健的視点で見た保育環境構成や日常生活援助について理解できる。 ・子どもの健やかな育ちのために、他者とどう関わり、どのような実践をしていくか、考えることができる。					
授 業 の 概 要					
グループワークを中心に、今まで学んだことを活かしながら他者と意見交換し、子どもの安全を守り、健康を維持増進していく保育実践について考える。					
成 績 評 価 の 方 法					
授業、グループワークへの参加意欲から、学習意欲を評価する。 事後レポートにより、授業内容を理解しているか、自己の考えをもち、学びを保育実践に活かそうとしているかを評価する。					レポート 60% 学習意欲 40%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
よくわかる子どもの保健（ミネルヴァ書房） 講師が得ている最新の情報があれば、授業の中で提供します。					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
		時間数			時間数
1. 保健的視点で見た保育環境		1	4. 子どもの健康と安全を脅かすもの		2
2. 保育における健康および安全の管理			5. 保育における保健的対応の		1
2-1. 衛生管理		1	基本的な考え方		
2-2. 傷害予防および安全対策		3	6. 個別的配慮を要する子どもへの対応		3
2-3. 危機管理		1	7. 様々な保育の場		2
2-4. 災害への備え		1	8. まとめ		2
3. 傷病発生時の対応					
3-1. 応急処置と心肺蘇生		1			
3-2. 感染症への対応		2			
その他			関連科目		
			子どもの保健		

シラバス（授業概要）				年 度		2025 年度	
時間数は45分換算				科目コード		H-S29	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース		
保育実習Ⅰ（施設）S			その他		こども保育科		
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員		
3	後期	必修	60	2	小笠原 香奈		
授業の目的・到達目標							
施設現場で養護と療育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのように繋がるか理解することができる。 実践を通じて、保育の技術、能力が向上できる。 自分なりの保育観や子ども観を深め確率できる。							
授業の概要							
「保育実習Ⅰ」は、保育士資格を取得するために児童福祉施設（保育所以外）で行う実習である。乳児院・児童養護施設・母子生活支援施設などの養護施設や障害時入所施設・障害者支援施設などの障害者施設で実習を行う。それぞれ10日間の実習で次の内容を体験的に学ぶ。①施設における1日の流れ②子どもや障害者への理解を深める③施設職員の業務内容や修業倫理について学ぶ④施設の技術や記録方法について実践的に学ぶ⑤保育士を志すものとして自覚を高める							
成績評価の方法							
実習日誌、事後レポートの提出、実習園による評価を総合評価したうえで総合的に評価する。					実習日誌の記述内容	50%	
					実習園による評価	30%	
					課題	20%	
使用テキスト・教材							
授業内容・授業計画							
1.「施設実習」では、以下の観点から施設における保育がどのようになされているかを理解する。 ①施設の内容、機能などを理解する。 1日の流れ、子どもや障害者の活動など ②施設職員の職務内容および役割、また他の職員とのチームワークなどの理解			時間数 60	③子どもや障害者を取り巻く社会や家族の問題について理解する ④日誌の書き方を学ぶ			時間数
その他				関連科目			
担当職員の指導や助言に従い、積極的に保育実習に参加すること				保育実習Ⅰ（保育所）S 保育実習ⅡS 実習事前事後指導Ⅰ（保育）（施設）S			

シラバス (授 業 概 要)				年 度	
				科目コード	2025 年度
時間数は45分換算				H-S32	
授 業 科 目 名			授業形態	学科・コース	
保育実習ⅡS			その他	こども保育科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
3	前期	必修	60	2	榛葉 幸子
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標					
・既習の教科や「保育実習Ⅰ」を通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質、能力、技術が向上できる。 ・子どもの最善の利益への配慮とそれを具体化する方法を理解する。 ・子育て支援をするために必要な知識・技術とニーズに対する理解力・判断力を養うことができる。					
授 業 の 概 要					
「保育実習Ⅱ」では、保育実習Ⅰを活かし、子どもの年齢や発達に応じた保育展開、状況に応じた保育の実践、さらに子育て支援としての保育所の役割を踏まえた保育実践に努める。 「保育実習Ⅱ」を履修するためには、「保育実習参加資格」の条件を満たさなければならない。「また、「保育実習Ⅰ」を終えておかなければならない。					
成 績 評 価 の 方 法					
実習日誌、事後レポートなどの提出物、実習園による評価を総合的に評価する。				実習日誌・提出物	50%
				実習園による評価	50%
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材					
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画					
1.「保育実習Ⅱ」では、以下の観点から保育士としての実践力を高めていくよう努める。		時間数			時間数
①子どもの年齢や発達に応じた保育や遊びの展開を行う。 ②その場の状況に応じた子どもの対応と保育について理解する。 ③支援の必要な子どもや保護者への対応について理解する。		60	④延長保育や休日保育、育児相談など子育て支援事業の理解。 ⑤保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等の実践と理解。 ⑥保育士としての自己の課題を明確にする。		
その他			関連科目		
できるだけ、部分実習や全日実習を行い、実践力を養うよう努めること。			保育実習Ⅰ（保育所）S 保育実習Ⅱ（施設）S 保育実習事前事後指導S		

シラバス（授 業 概 要）				年 度		2025 年度		
				科目コード		H-S33		
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース			
保育実習事前事後指導 IIS			講義・演習		こども保育科			
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員			
3	前期	必修	20	1	榛葉 幸子			
授 業 の 目 的 ・ 到 達 目 標								
・「保育実習事前事後指導」「保育実習Ⅰ（保育所）」、既習の教科の内容を基盤に、保育所の理解、子どもや家庭への支援について理解できる。 ・子どもの発達や実習園の方針に沿った指導計画作成や的確な記録・考察ができる。 ・実習の振り返りにより、保育者として自己の課題を明確化できる。								
授 業 の 概 要								
「保育所実習Ⅰ（保育所）」での自己評価と課題・学習目標について再確認する。それに基づき、具体的な内容を通して、「保育実習Ⅱ」に関する目的を明確にし、実習計画作成、実践、日誌の記録など、より実践的な内容を学習する。								
成 績 評 価 の 方 法								
課題（「保育所実習Ⅱ」の実習目標、課題、実習事後レポート）の評価点、学習態度（発表も含む）を総合評価したうえで決定する。					課 題	70%		
					学習態度	30%		
使 用 テ キ ス ト ・ 教 材								
保育所保育指針解説 （フレーベル館）								
授 業 内 容 ・ 授 業 計 画								
1. 保育実習Ⅱの目的・意義について			時間数	2		6. 教材作成	時間数	2
2. 課題の明確化			2	2		7. 模擬保育	2	2
3. 実習日誌とその活用			2	2		8. 模擬保育	2	2
4. 指導案の作成			2	2		9. 模擬保育	2	2
5. 指導案の作成			2	2		10. 実習直前オリエンテーション （実習における諸注意と自己チェック）	2	2
その他				関連科目				
				実習指導Ⅱ 保育実習事前事後指導ⅠS（保育所） 保育実習ⅠS（保育所） 保育実習ⅡS				